

【2学年】アウトライン作成

【題材テーマ】町のすてき つたえたい

プレ 教科学習		STEAM単元【計 24時間計画】 ★【ユーザー設定(誰の・どんな課題を解決するか)を、どこで設定するか考えて記入する。】		関連・協力する人材・施設等	
		1. 探求し、知る学び【1学期10時間】	2. 発想し、創る学び【2学期 14時間】		
【科学・数学】教科 ・算数「時刻と時間」	① 問題発見 課題設定	2年生も、新しく入学してきた1年生も、九会小学校の周りの事をあまり知らない。 だから、九会小学校の周りを探検して、どんな建物などがあるか調べて、紹介する。	⑤ 共感	1学期に町探検に行った施設の困りごとを聞く。	【連携する地域資源】 ○1学期 ・消防署 ・南部公民館 ・給食センター ・すかの店 ・清慶寺 ○2学期 ・南部公民館
【芸術】教科 ・国語「観察名人になろう」 「メモをとるとき」	② 情報収集	町探検をする。 お店や施設の人に、インタビューをする。 ・どんなことをしている場所か。等	⑥ 問題定義	何かと一緒に体験することを通して、施設の良さを見つけたり、困りごとを解決するためのヒントを探したりする。	
【技術・工学】教科 ・動画	③ 整理・分析	町探検でインタビューをして分かったことを、振り返る。	⑦ 発想	どのような方法で困りごとを解決するか、考える。	【サポーター】 ・加西市観光ボランティア
	④ まとめ ・表現	1年生に、九会小学校の周りのことを伝えるために、メモしたことをもとにポスターにまとめて、1年生に伝える。 ・文章 ・写真 ・イラスト	⑧ プロトタイプ (試作品)	例 ・ポスターを作って、広める。 ・動画を活用して広める。 ・実際に、他の人に体験してもらう機会を作る。	【アウトプットの想定、期待する児童の姿】 ・地域の人たちのために、○○の素敵を発見して、広めようとするができる。
			⑨ テスト	・施設の人に見てもらおう ・実際に九会小学校の他学年の児童に体験してもらって、良さを実感してもらおう。	
				・町探検に行く→町の困りごと解決隊 ・町の人たちの仕事への想い・様々な工夫を聞く。 ?生活科の単元との絡め方	

【2】年1学期 単元名 (題材・テーマ)		とび出せ！九会っ子たんけんたい！			
児童の実態	長所	○何事に対しても「やってみたい」「行ってみたい」と興味をもつことができる。 ○友達と協力しようとする態度はある。			
	課題	▲九会小学校の周りに、何があるかはなんとなくは知っているが、その場所がどのような場所なのかまでは十分に知らない。 ▲「伝えたいこと」に沿って、絵や文をまとめることが難しい。			
目標	アウトプットの想定 期待する児童の姿	自分達が住む街を探検する活動を通して、町の自然、人々、社会、公共物などに関心をもつ。 自分たちの生活は、町で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かる。 それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。			
	知識・技能	町の自然や人々、社会、公共施設などの様子や、自分たちの生活との関わりと、自分の町の良さに気づいている。			
	思考・判断・表現	町の人々や様々な場所と適切に関わる。安全に生活することについて考える。 町探検で発見したことや気づいたことについて、自分なりの方法で表現したりしている。			
	学びに向かう態度	自分の生活している町に関心をもち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して春の町を探検したりしようとしている。			
学習活動 計画		時数 【全10時間】	学習活動	・指導の手立て・留意事項 ・連携する地域資源・サポーター	関連教科・単元
	① 問題発見 課題設定	1 2・3	2年生も、新しく入学してきた1年生も、九会小学校の周りの事をあまり知らない。 だから、九会小学校の周りを探検して、どんな建物などがあるか調べて、紹介する。 学習計画を作る。+お店や施設で聞いてみたいことを考える。	○事前の打ち合わせで、観光ボランティアの方に九会小学校地区の特徴を覚えてもらった上で見学場所を決定することができたのは良かった。 ▲打ち合わせの際に、雨天の場合の計画(雨天決行するか、延期にするのか)。当日何人教師が引率できるか。等も事前に教員で計画しておいた方がよりスムーズに話げできた。	
	② 情報収集	4・5・6	町探検をする。 お店や施設の人に、インタビューをする。 ・どんなことをしている場所か。等 ○各施設10分程度で回ること、児童の興味と集中力が最後まで保てたと思う。 ○10分程度の中では、質問を3つに絞って良かった。 ▲1グループ8人でしていたため、質問以外の他のメンバーがまとめる内容をどうするか困る場面があった。質問以外のメンバーについては、質問以外で調べることができる「どんな物があるか。どんな建物か。どこにあるか。」など見学の中で調べたことをメモさせて、まとめさせるような指導の仕方も検討しても良かった。	・加西市観光ボランティア 2名 ・消防署、給食センター、南部公民館、すがの店、清慶寺 【当日までに、到着時間、質問事項の連絡をする。】 ○九会小学校地区について詳しく知っている方に、見学場所まで案内してもらったり、道中に九会小学校地区周辺の町や建物について説明してもらったりすることで、児童は興味をもって話を聞くことができていた。	【国語】ともだちをさがそう 【国語】かんさつ名人になろう 【国語】メモをとるとき
	③ 整理・分析	7	・探検で発見したことをグループで整理する。 ・友達に伝えたいと思ったことを、班で決める。 ▲2年生では、グループ全員で情報を整理して、誰が、何を書か決めるには時間がかかり、少し難しかった。事前に質問内容、書く内容を個別に決めておき、その上で、各自調べて分かったことを持ち寄り、情報を整理したり、聞き漏れを埋める時間にも良かったように思った。	・1枚の用紙に、伝えたいことを各自1つずつ書かせる。 ・グループで、伝えたいことを整理して、一人一人に伝える内容を割り振る。	
	④ まとめ ・表現	8・9・10	・担当を決めて、ワークシートに伝えたい事を絵と文でまとめる。 ・班ごとに、模造紙にワークシートを貼る。 ★ロイロノートに映して ・見せるために、発表するためにか 目的にあった文章 ・1年生に、「九会小学校のすてきなところ、すてきな人」を紹介する。 ○1年生で紹介する活動を通して、2年生は「もっと九会小学校の周りの良い所を1年生に伝えて知ってもらいたい」「次はもっと上手に伝えられるようになりたい」等、意欲を高めることができた。 ○相手意識と目的をもって、伝えるための練習をすることができた。 ○1年生にとって「少し知っている。行ったことがある。」という場所も多く、前のめりになって話を聞く1年生の姿も多かった。その1年生の姿を見て、2年生の次へのやる気がさらに高まった。 ▲2年生は、一人一人が自分のまとめたワークシートを読み上げて発表をした。一人ひとりの発表時間は30秒程度で短かったが、最後の方は集中力が切れる1年生もいたので、発表の仕方や内容に工夫が必要。	・題名、絵、文の型を統一したワークシートを活用する。 ・伝えたいことを、メモする。 →【国】(3時間)を活用し、メモしたことをもとに文章を書いて清書をする。 ○国語の授業を活用して、書き方指導ができたのは良かった。児童にとっても文を書く目的が明確になって良かった。 ▲生活科をまとめる際に、横書きで書かせた。しかし、国語の学習で「はじめ・中・おわり」の構成や話の進め方等を縦書きでずっと練習していたため、横書きに変更したことで混乱してしまった児童が多数いた。児童の実態に応じて、縦書きのままでもまとめさせても良かったように思った。 ・発表練習をする。 1年生の顔を見ながら説明できるようになるために、暗記をしたり、教室全体に伝わる声の大きさや速さ、指差しをしながら等の指導をする。 ・ロイロノートに町探検の様子や児童が発表する内容に合った写真を入れて、児童が発表する際に大型テレビの画面に映す。 ○写真を大きな画面に映すことで、児童の発表内容が伝わりやすかった。	【国語】こんなもの、見つけたよ 【国語】あったらいいな、こんなもの ○書く題材を生活科と繋げて設定することで、時数に余裕ができた。

【教科】 単元名	【国語】ともだちをさがそう	【国語】かんさつ名人になろう	【国語】メモをとるとき	【国語】こんなもの、見つけたよ	【国語】あつたらいいな、こんなもの	【】	【】	【】	【】	【】	【】
身につける力 【知・技】 【思・表】	【思・表】自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。	【思・表】経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	【思・表】必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。 ▲実際にインタビューをしたことを、メモの形で記録できていたのは数人。大半の児童が、相手の言葉を全部書こうとしていた。授業の中で、もう少し練習が必要だった。	【知・技】句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 【思・表】事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ・文と文の続き方に注意しながら、内容のまともりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うことができる。 【思・表】話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話のないように捉えて感想をもつことができる。						

【2】年2学期 単元名 (題材・テーマ)		九会の町に、ひろがれえがお(11～12月)			
児童の実態	長所	○学校生活の中で、お手伝いを進んで行うことができる。 ○人の役に立つことに、喜びを感じることで児童が多い。			
	課題	▲伝えたいことに沿って、絵や文をまとめること。 ▲1つの課題に対して、全員が最後まで、集中して取り組むことが難しい。(1学期は、各グループに2人程度、後半に違うことをしてしまっていた)			
目標	アウトプットの想定期待する児童の姿	町で生活したり働いている人々とかかわりを深める活動を通して、町の良さや町の人々の温かさに気づき、町の人々への親しみや愛着をもつと共に、相手に合わせて適切に接したり、安全に生活したりできるようにする。			
	知識・技能	町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちとの生活との関わりに気づくと共に、自分の町の良さに気づいている。			
	思考・判断・表現	町の様々な場所や人と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で気づいた事や教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現したりしている。			
	学びに向かう態度	自分が生活している町に関心をもち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めようとしている。			
★ ユーザー設定	⑤ 共感	1・2・3	<p>【事前】1学期の町探検に関わった場所や人を振り返る。 (消防署、給食センター、南部公民館、すの店、清慶寺、観光ボランティア) ・町探検をした施設の中から「南部公民館」から、2年生達の力を貸して欲しい。という依頼が来ていることを児童に伝える。★南部公民館への関心を高める。 ★ワークシートを配布。</p> <p>1.【南部公民館】の館長さんからの思いや願いを聞く。 南部公民館から、2年生に「九会っ子に○○を伝えてほしい。広めて欲しい。○○になってほしい。」という願いを聞く。 →南部公民館の思いや願いを、九会小学校の1年生や子ども園の友達に伝えることを通して、九会の町の人々の笑顔を増やしたり、町の魅力を九会小学校の友達に伝えたりすることに繋げる。</p> <p>①イベントの紹介 写真、動画、絵 ②イベントの希望調査(九会っ子、父母、祖父母、地域の人) ③ウェルカムボード</p> <p>【背景・要望】 ・一部の人のみの利用が多く、新しく参加する人が少ない。 ・たくさんの人に、南部公民館のことを知ってもらいたい。 ・地域の人との接点作りをしたい。 ・イベントがマンネリ化しており、地域の人がどのようなイベントに参加したいのか知りたい。「あったらいいな、こんなイベント」 ・公民館祭り(10/21、22)に多くの人に来てほしい</p> <p>2. 南部公民館のことについて、もっと知ろう。 ①南部公民館内を案内してもらう。 ・館長さんに伝えてもらった困りごと・お願い事をどのように解決したらよいかを踏まえながら、館内を見回るようにさせる。 ○目的をもたせた上で館内を回ることで、児童は意欲的に館内の面白い所等を探そうとして、メモにとることができた。 ○館内を回る中で、講座の参加者に児童が出会った際、児童は講座の参加者に進んで挨拶したり、自然と講座の感想をインタビューしたりする様子が見られた。 ②南部公民館の講座「夢ふくふく 南京玉すだれ」を体験する。 実際に講座を体験することを通して、楽しさを実感し、皆に紹介したいという気持ちを高める。 ○実際に体験することを通して、児童が「面白い講座をみんなに伝えたい」という思いを強くすることができた。</p>	<p>・指導の手立て・留意事項 ・連携する地域資源・サポーター</p> <p>・事前に施設の方と、事前打ち合わせをする。 【確認事項】 実施日内容、児童との関わり方、進め方等 町の人から、2年生が取り組み可能な願いを聞いて、内容を調整する。</p> <p>・1年生生活科「ひろがれえがお」で家族が笑顔になるようなお手伝いを考えて実行し、家族のえがおを広げた経験を思い出させる。</p> <p>【サポーター(案)】 ・南部公民館 南部公民館館長東出さんに直接、願いや思いを話してもらう。 ▲館長さんが児童に伝える言葉が多々難しく、館長さんの想いを、言葉から児童が十分に感じ取ることは難しかった。もう少し、児童に向けてもらう言葉について打ち合わせも必要だった。 →「夢ふくふく 南京玉すだれ」の講座体験を南部公民館で実施する。 ・町の施設や人と関わる際に必要な約束(ルールやマナー、言葉遣い、安全面)を確認する。</p> <p>・インタビュー(質問)用紙を作る。 ・メモの仕方を振り返る。(国語)</p>	<p>関連教科・単元</p> <p>【道徳】おじさんからの手紙 【道徳】おにいちゃんの電話 【道徳】さて、どうかな</p> <p>【国語】かんさつ名人になろう(1学期) 【国語】ともだちをさがそう(1学期) 【国語】メモをとるとき(1学期) ▲メモの仕方を国語科で指導をしていたが、実際に南部公民館でメモを取らせると簡条書きや大切な言葉だけをメモする等練習したことが生かされず、長文を書く児童が多かった。</p>

学習活動 計画	⑥-1 問題定義	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人が伝えて欲しいと思うことを整理し、伝える内容を明確にする。 <p>4</p> <p>①南部公民館の館長さんの話を思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館の利用者が少なくなっている。 公民館のことをもっと知ってもらいたい。利用してもらいたい。 <p>★人が「つどう・学ぶ・結ぶ」場</p> <p>②なぜ、利用者が少なくなっているのか原因を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館のことを知らない人が多い ・南部公民館で何をしているのか知らない。 <ul style="list-style-type: none"> →どんな講座があるか知らない。 →講座が面白くなさそう。 ・公民館に入りづらい雰囲気がある。 建物見て、楽しそうな雰囲気があるか？ <p>③それらを解決するために、3つのお願いがあったことを確認する。</p> <p>考えた原因から、どうすればたくさんの人が南部公民館のことを知って、遊びにいってくれるようになるか考える。</p> <p>6</p> <p>①問題点(原因)を整理する。</p> <p>②A3用紙に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうかいチーム ・ウェルカムボードチーム ・アンケート <p>③原因を解決するために、どのような方法が必要なのか、次回の生活の時間に考えることを伝える。</p> <p>3つのグループに分かれる。</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館へ探検に行った時のしおりや、写真、動画をふり返らせることで、館長さんの話を思い出させる。 ○学校に戻って学習を進める中で、動画で館長さんの話をしていた動画を見直すことで、その場のことを想起させやすかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館の紹介、ウェルカムボード、あったらいいな講座アンケートの3つのチーム分けをする。※ロイロノートでアンケートをとって、チーム分けの参考にする。 	<p>【道徳】おじさんからの手紙 【道徳】おにいちゃんの電話 【道徳】さて、どうかな</p> <p>【国語】かんさつ名人になろう(1学期) 【国語】ともだちをさがそう(1学期) 【国語】メモをとるとき(1学期)</p>
	⑥-2 問題定義	<p>5・6</p> <p>①自分のチームを確認する。</p> <p>②自分のチームの問題点(原因)を中心に、さらに具体的に考えてカードに記入させる。</p> <p>※前時に子どもから出てきた困りごとの問題点(原因)</p> <p>【ウェルカムボード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物が楽しく無さそう <p>【しょうかい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの人は知っているが、若い人は知らない。 ・場所やどんな所なのか知らない。 ・南部公民館のことを知る機会がほとんどない。 <p>【講座アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つまらない。・暇 ・(子供が)楽しくない ・ずっと同じ講座ばかり <p>③問題点(原因)を書いたカードを、番号ごとに集める。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題点(原因)を書き出すためのカードを用意する。 ○問題点(原因)について、各自考えられることをカードに書き出していく。 <p>①建物のどんなところが楽しくなさそうなのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見た目、内装→デザインのアイデアに繋げていく。 <p>②南部公民館のことを知らない人が多いのは、どうしてか</p> <p>③南部公民館の何を知らないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> →講座、どんな人が受講しているのか、どんな人が働いているのか <p>④南部公民館を知らない人は、どんな人が</p> <ul style="list-style-type: none"> →誰に、どのような方法で、どのような内容を、伝えると良いか考えるきっかけにする。 <p>⑤講座でつまらない、楽しくないと思ったところ→どんな講座があればよいか。</p> <p>⑥どんな人にとって、楽しくなさそうなのか</p> <ul style="list-style-type: none"> →誰に、どのような方法で、どこで、いつ、アンケートを取ればよいか。 <ul style="list-style-type: none"> ○問題点(原因)を整理しやすくなるために、見出しを書いた用紙を用意しておく。 ○必要に応じて、用紙を増やせるように準備しておく。 <p>6.</p> <ul style="list-style-type: none"> ○A3用紙を用意しておく。 ○実現が難しいもの、南部公民館の要求から外れるものは、教師と児童が話し合い、候補から外していく。 	<p>2学期</p> <p>【国語】そうだんにのってください(8時間)</p> <p>▲問題定義では、意見をたくさん出すことをメインにしまったので、国語科「そうだんにのってください」の学習を活用することができなかった。</p>
	⑦ 発想	<p>7・8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームでアイデアを出し合う。 <p><例></p> <p>ポスター、動画、チラシを作って配布する、みんなの前で話をして紹介する。ウェルカムボード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを出す視点を与える。 <p>【いつ、だれに、どのような方法で】すると解決しそうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生にとって実現不可能な解決方法については、児童と教師が話し合っ、候補から外す。 ・ブレインストーミングでたくさんアイデアを出させる。(アイデアに対する批判否定はせず、質より量を意識させる。) <p>○出したアイデアに対して、否定せずに出させていくことで、たくさんアイデアを出すことができた。</p> <p>▲付箋の粘着力が弱かったので、たくさんアイデアを出せたのは良かったが、すぐに剥がれてしまう付箋が多く、その後まともに使えなかった。→粘着力の強めの付箋が必要。</p>	<p>1学期</p> <p>【国語】あったらいいな、こんなもの 【国語】メモをとるとき</p> <p>2学期</p> <p>【国語】そうだんにのってください(8時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活科の話し合いの学習を、国語科「そうだんにのってください」の4時間を活用しながら進めることができた。 ▲相談のさせ方のルールについて、2クラスの児童が混じり、違う教室で行った。どのように国語科に学習を関連付けながら学習を進めるのか、教員の打ち合わせをもっと具体的にしていきたいと思います。

	⑧ プロトタイプ (試作品)	8~20	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の発想で出したアイデアをもとに、計画・準備をする。(手順、材料、役割分担等) ・計画に従って、作ったり、試したりする。 <p>9時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想で出たアイデアを絞っていく。 <p>○途中で、南部公民館の館長さんに来校頂き、試作品に対する評価やアドバイス、要望を言ってもらえたのはよかった。試作品に対して、児童が自信をもったり、目的からズレていったグループが目的を再確認・再検討できる時間となった。</p> <p>○アンケートを実施する際に、児童が自分たちで他学年や先生にお願いに行くことで、活動内容に対してさらに意欲や責任感をもつことができた。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・発想でのアイデアの中で、難しそうなものについては教師から児童に考えさせた上で、候補から外すように促していく。 ※2年生で取り組み可能か。館長さんの願いに沿ったものであるか。を考えさせる。 ○明らかに、児童にとって取り組みが難しいものについては、事前に教師がアイデアカードを省いた上で、残りのカードで児童に話し合わせた。それによって、児童の話し合いのスタートは良かったように感じる。 ・常に目標を意識させながら取り組ませていく。 ・館長さんに来校して頂き、試作品に対して助言をしてもらう。 ★QRコードを活用して、児童が南部公民館を紹介している動画をチラシに載せる。 ▲動画作成の途中で、チラシに載せる動画が紹介動画ではなく、活動の報告動画のようになってしまったため、チラシに載せる紹介動画であり、見てもらう相手を意識して、動画を作成していく必要があった。 			算数「表とグラフ」 ○アンケートチームの集計の際に、学習で学んだことを活かしてアンケートの回答をまとめることができた。
		21・22 【3学期】	<ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館の館長さんに来校して頂き、ウェルカムボードの成果物を渡したり、アンケート結果の報告、ポスターやチラシ・校内での発表の様子を伝えたりする。(写真や動画を撮って、その様子を記録をする。) ・振り返りする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・発表する場所を決める(学校・施設) ○児童朝会で作ったポスターを活用し、全校生に南部公民館(施設・講座)の紹介をすることができた。 ▲発表が3学期に入ってしまったこともあり、発表の練習時間を十分にすることができなかった。児童のモチベーションも持続させるためには、2学期中に発表練習も含めて終わらせてしまえるように取り組むことが必要だった。 			
【教科】 単元名	【国語】そうだん にのってくださ い	【国語】ともだちを さがそう(1学期)	【国語】かんさつ 名人になろう(1 学期)	【国語】メモをと るとき(1学期)	【国語】こんなもの、見つけたよ (1学期)	【国語】あつらいいな、こんなも の(1学期)	【道徳】おじさん からの手紙	【道徳】おにい ちゃんの電話	【道徳】さて、どうかな	
身につける 力 【知・技】 【思・表】	【知】 共通、相違、事 柄の順序など 情報と情報との 関係について 理解することが できる。 【思・表】 互いの話に関 心を持ち、相 手の発言を受 けて話をつなぐ ことができる。	【思・表】 自分が聞きたいこ とを落とさないよう に集中して聞くこ とができる。	【思・表】 経験したことから 書くことを見 つけ、必要な事 柄を集めたり確 かめたりするこ とができる。	【思・表】 必要な事柄を 集めたり確かめ たりすることが できる。	【知・技】 句読点の打ち方、かぎの使い方 を理解して文や文章の中で使う ことができる。 【思・表】 ・事柄の順序に沿って簡単な構 成を考えることができる。 ・文と文の続き方に注意しなが ら、内容のまとまりが分かるよう に書き表し方を工夫することが できる。	【知・技】 丁寧な言葉と普通の言葉との違 いに気を付けて使うことができ る。 【思・表】 話し手が知らせたいことや自分 が聞きたいことを落とさないよう に集中して聞き、話のないよう を捉えて感想をもつことができる。	公共の場での 約束や決まりを 守ることが周り の人をとてもし い気持ちにする ことに気づき、 自分やみんな が気持ちよく生 活できるように 約束や決まりを 守ろうとする態 度。	相手によって話 し方や言葉遣い を変えること は、相手が気持 ちよく感じたり、 相手に失礼に ならないために 大切なことであ ることに気づ き、気持ちの良 い言葉遣いをし ようとする心 情。	時と場に応じた挨拶 や言葉遣いなどの大 切さに気づき、明るく 礼儀正しく接しよう とする判断力。	

【2】年2学期 単元名 (題材・テーマ)	九会の町に、ひろがれえがお(10～11月) 南部公民館打ち合わせ資料
-------------------------	------------------------------------

目標	アウトプットの想定 期待する児童の姿	町で生活したり働いている人々とかかわりを深める活動を通して、町の良さや町の人々の温かさに気づき、町の人々への親しみや愛着をもつと共に、相手に合わせて適切に接したり、安全に生活したりできるようにする。
	知識・技能	町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちとの生活との関わりに気づくと共に、自分の町の良さに気づいている。
	思考・判断・表現	町の様々な場所や人と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で気づいたことや教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現したりしている。
	学びに向かう態度	自分が生活している町に関心を持ち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めようとしている。

学習活動 計画	時数 【全14時間】	学習活動	指導の手立て・留意事項 ・連携する地域資源・サポーター	メモ・備考 (日時・場所・関わり方・話す内容等)
	★ ユーザー設定	1・2	①1学期の町探検で関わった場所や人を振り返る。 ・消防署、給食センター、南部公民館、すかの店、清慶寺、観光ボランティア ②町の人が抱いている「九会っ子に〇〇を伝えてほしい。広めて欲しい。〇〇になってほしい。」という願いを聞く。【広報活動のようなもの】 →町の人々の願いや思いを、九会小学校の1年生や子ども園の友達に伝えることを通して、九会の町の人々の笑顔を増やしたり、町の魅力を九会小学校の友達に伝えたりすることに繋げる。	・事前に施設の方と、事前打ち合わせをする。 【確認事項】 実施日内容、児童との関わり方、進め方等 町の人から、2年生が取り組み可能な願いを聞いて、内容を調整する。 ・1年生生活科「ひろがれえがお」で家族が笑顔になるようなお手伝いを考えて実行し、家族のえがおを広げた経験を思い出させる。 【サポーター(案)】 ・南部公民館 ・観光ボランティア
⑤ 共感	3・4・5	・町の人が伝えて欲しいと思うことを整理し、伝える内容を明確にする。 そのために、インタビュー等をして町の人々の話を聞き、より具体的に町の人々の思いや願いを知る。	・町の施設や人と関わる際に必要な約束(ルールやマナー、言葉遣い、安全面)を確認する。 ・インタビュー(質問)用紙を作る。 ・メモの仕方を振り返る。(国語)	
⑦ 発想	6・7・8	【個人?グループ?】 ・どのような方法で伝えると効果的なのか考える。 ＜例＞ ポスター、動画、チラシを作って配布する、みんなの前で話をして紹介する。ウェルカムボード ・伝えるための材料を集める。(動画、写真など)	・今までの学習を思い出し、どのような方法ができそうか考えさせる。 ・アイデアをメモに書き出させたり、絵に描いたりして、イメージを形にさせていく。	
⑧ プロトタイプ (試作品)	9・10 ・11・12	・作るための計画・準備をする。(手順、材料、役割分担等) ・計画に従って、作ったり、試したりする。	・実践を試す場と時間を確保をする(必要に応じて他学年と調整)。	
⑨ テスト	13・14	・自分たちで考えた方法で、九会小学校の1年生や子ども園の友達に伝える。(写真や動画を撮って、その様子を記録をする。) ・振り返りをする。	・発表する場所を決める(学校・施設)	